

設備工事情報シート	衛生	I-P-21-改 ₂	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日
施工要領	壁掛式衛生器具		固定方法及び手順	

1. 目的・概要

壁掛洗面器を設置する場合、取付ける壁の仕様によって、器具のがたつきトラブルが発生する場合があります。

ここでは、代表的な壁仕様における施工要領を紹介する。

2. 施工手順および注意ポイント

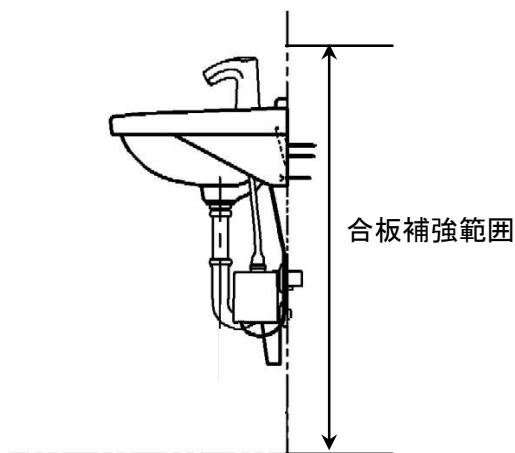
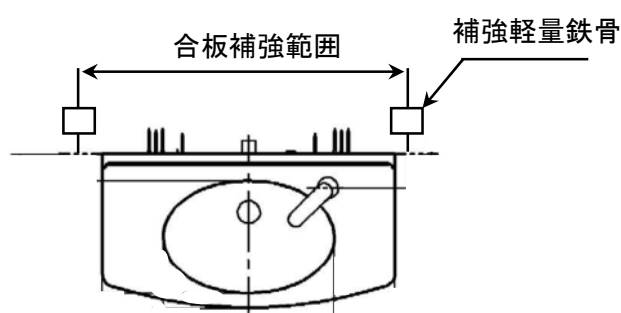


(1) 施工前の確認

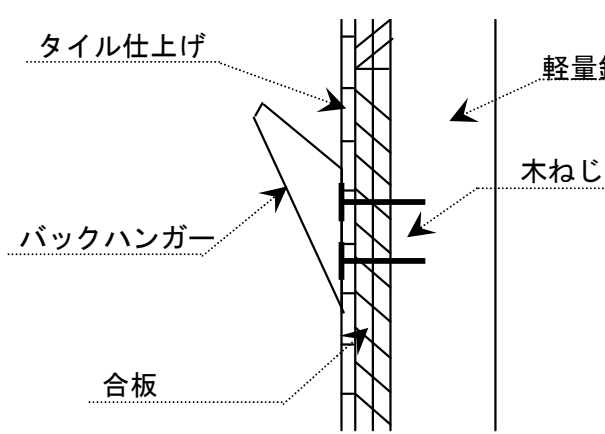
- ① 壁掛洗面器を取付ける場合、取付ける壁の仕様に合わせて、事前に補強を入れておく。
- ② 壁の仕様によっては、強度が不足している場合があるため、十分な補強を行う。

(2) 壁の種類別、下地のポイント

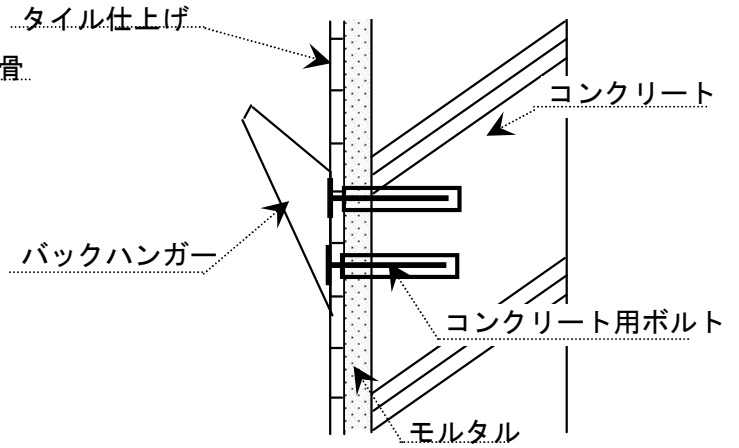
- ① 軽量鉄骨下地壁 (図1)
壁掛洗面器取付け面の両端(できるだけ洗面器に近い位置)に補強用軽量鉄骨を設置し、補強用合板を貼り、木ねじにてバックハンガーを固定する。
- ② コンクリート下地壁 (図2)
コンクリート壁と仕上げ材(タイル、ボード等)との間に空隙がないようにモルタルにて充填し、バックハンガーをコンクリートアンカーボルトまたはコンクリート用接着系アンカーにて固定する。
- ③ コンクリートブロック下地壁 (図3)
壁掛洗面器取付け面のコンクリートブロック内の空隙部分にモルタルを充填し、またコンクリートブロック壁と仕上げ材(タイル、ボード等)との間に空隙がないようにモルタルを充填し、バックハンガーをコンクリート用接着系アンカーにて固定する。
- ④ GL工法壁 (図4)
コンクリート下地と仕上げボードの間の空隙をモルタルにて充填し、洗面器取付け範囲を合板にする。バックハンガーの固定は、コンクリート用接着系アンカーを使用する。
- ⑤ 木下地壁 (図5)
壁掛洗面器取付け面の両端(できるだけ洗面器に近い位置)に補強用木軸をいれ、補強用合板を貼り、木ねじにてバックハンガーを固定する。



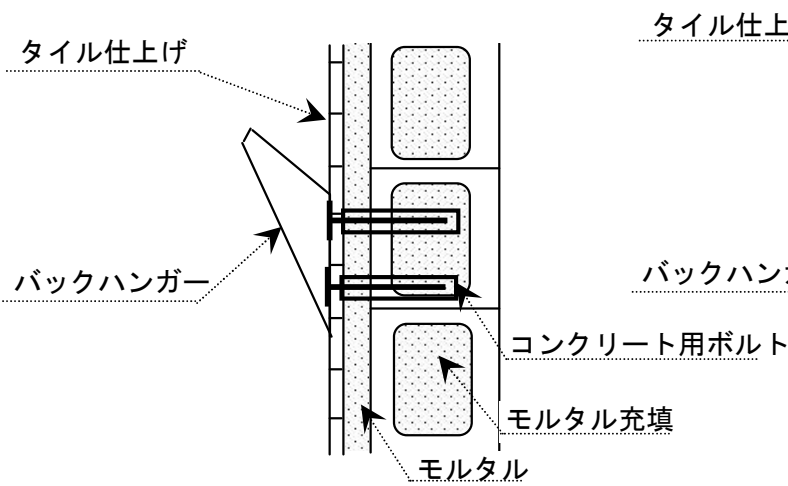
資 料



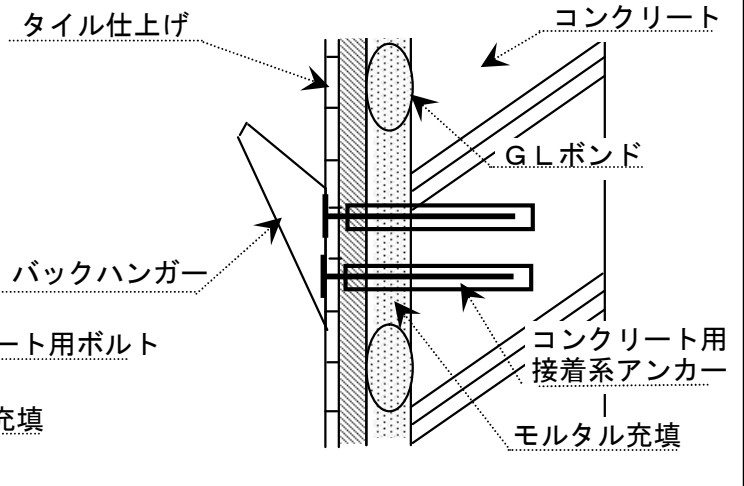
(図 1 : 軽量鉄骨下地壁)



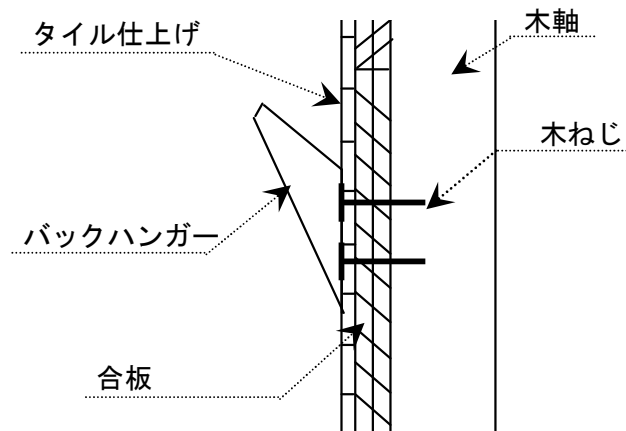
(図 2 : コンクリート下地壁)



(図 3 : コンクリートブロック下地壁)



(図 4 : GL工法壁)



(図 5 : 木下地壁)